

## 解答

問一

●品物は人に分けるとなくなってしまうが、思想はなくならず、みなとの共有財産になる。

●品物はどんな人にも同じモノだが、思想は受け取られ方によって人それぞれ違いがある。

問二

自分の考えをことばによって広く人々に伝え、人それぞれの受け止め方をしてもらうことによってみなの共の財産にいくこと。

問三

1 身辺 2 健全 3 出版

問一

活発で物おじせず、強情だが、好奇心が強く、感受性や想像力が豊かな性格。

問二

昔かわいがっていたきみじょちゃんに似て、活発で強情なわたしがかわいくてたまらず、元気に育ってほと願っている。

問三

①娘のきみが元気に生きていたころをなつかしく思う気持ち。

②きみを十歳で死なせてしまったつらさを思い出したいくない気持ち。

問四

きみじょちゃんに似ていると聞かされていたので、早く死ぬ運命まで似るのではないかと不安になっていたが、祖母に似ていないから大丈夫とあっけらかんと言われ、ほっとした。

## 解説

問一

一点目の違いは、「品物のときには、人に分けてしまえば手もとは何も残りません。しかし、思想は・・・」分けて「なくなってしまうこと」はありません。むしろ、大きく広がって「みなとの共有財産」になって行くのです」と述べられています。

問二

二点目の違いは、思想という財産の分配を受ける側のひとりひとはちがうから・・・思想や考え方や思いを最初に「分けようとした人」の望みどおりには「聞いてもらえず」「読み取ってもらえない」ことが充分あり得る」と述べられています。

直前に「思想は分けられる（分配される）ものであり」「だいたいなことが、ことばによって、聞いたり読んだりする人々みなものにされて行く」「読んだり聞いたりすることによって共同の財産が生まれ出る」と述べられています。要約してまとめましょう。

問一

AS/Eそれぞれについて、そのような行動をとる子どもの性格を考え、答えましょう。

問二

虎おじじが「きみじょちゃんに似とらすなあ」と発言するのは、虎おじじがわたしをきみじょちゃんに重ね合わせ、いとおしく思っている場面です。強情なところがかわいくてたまらない上、「魔モン」から守ろう、元気に育ってほしいという思いが読み取れます。

問三

①祖母の「遠いところに笑いかけるような」表情から、亡くなったきみを思いだしていると考えることができません。

問四

②祖母の「妙に冷淡な口ぶり」から、娘のきみを十歳で亡くしたつらさを思い出したいくないという気持ちが読み取れます。

きみじょちゃんが十歳の時、死に病で亡くなったことを祖母から聞かされ、わたしは「ぎくりと」したり、「おぞましい気持ちにおそれ」たり、「絹の真紅が、急に血のようにどす黒く見えて、わたしは思わず目をそらし」たりしています。これらの描写から、きみのように自分も死ぬのではないかと不安になっている様子がわかります。しかし、祖母から「似とらん」と笑われ、「おまえみたいなのは長生きだけん、心配さんでもええ」と言われ、ほっとしたとあります。この部分をまとめましょう。